

自己理解から他者理解に向けての取り組み

—自分の感じを掴みながらズレの少ない丁寧な関わりを目指して—

相談セッション

内村 文雄

【研修の概要】

私は、研修を通していろいろな自分に気づくことができました。さらに自己理解を深めていくために、自己開示したりフィードバックしてもらったりすることによって、等身大の自分を探っていった。そして、私にとって『感情を素直に表現』することと『他者意識を持つ』ことが大切だと分かった。今後、私が生徒一人ひとりを理解していく上で「子ども理解支援シート」(長崎県教委作成)を活用し、感情表出ができない子どもや苦手な子どもに対して援助していくことができると考えた。

【キーワード】 安心・安全 感情表現 他者意識 子ども理解支援シート

相手の思いと向き合うこと

—遊戯療法から学んだことを通して—

相談セッション

小林 恵美

【研修の概要】

今までよりも深い自己理解をしたり、実際の相談面接における遊戯療法の体験を通して、相手の思いと向き合うこと、つながるために大切なことを探っていった。ありのままの自分の姿を自覚(自己理解)して関わるのが、よりよい人間関係をつくることへの第一歩 になることが分かった。また、遊戯療法の体験から「子どもの主体性を大切にすること」「言葉の奥にある思いを感じること」「子どもの力を信じること」「攻撃性の大切さ」等々、相手とつながっていくために大切なことを実感として、学んだ。

【キーワード】 自己理解 遊戯療法 主体性 信じて見守る つながる

発達障害の正しい理解と子どもへの支援

—子どもとのかかわりを大切にしたい私であるために—

特別支援教育セッション

森川 和宜

【研修の概要】

発達障害への正しい理解に向け、文献・研修会への参加、相談活動、知能検査(WISC-III)、訪問活動(3歳児健診・幼稚園・小中高等学校)を通して探っていった。また、これまでの自分自身を振り返り、子どもとの関わり方や支援の方法について考察した。その中で、診断名だけにとらわれるのではなく本人の困難さに向き合うことが大切であることを再認識した。また、保護者の子どもへの関わり方から学ぶという姿勢をもつことが大切であることを実感した。

【キーワード】 本人の困難さに向き合う 連携 子どもの思い 自己ベストの力